

市内観光ガイド案内【日本語】料金表

■料金（個人型1～9名）

	1名様	2名様	3名様	4名様	5名様	6名様	7名様	8名様	9名様
2時間まで	1,100円	1,100円	1,100円	1,100円	1,100円	1,320円	1,540円	1,760円	1,980円
2時間を超える場合、1時間あたり	550円	550円	550円	550円	550円	660円	770円	880円	990円

・1名様から受け付けますが、最低料金を5名様分とさせていただきます。

■料金（団体型10名様以上）

	10～15名様	16～30名様	45名様まで
2時間まで	2,200円	4,400円	6,600円
2時間を超える場合、1時間あたり	1,100円	2,200円	3,300円
ガイド人数	1人	2人	3人

・ガイド1名につき、15名様までご案内いたします。16名様以上の場合、ガイドは2名以上となり、人数を均等に分けてご案内いたします。

【ご案内】

- ・金額は消費税込となります。
- ・傷害保険は含まれておりません。ご自身で加入いただくか、当方で用意する保険にご加入ください。
※加入されていない場合、万が一事故が起きても補償には応じかねます。
- ・ガイド場所から離れた地点で待ち合わせの場合、合流地点からガイド料金は発生し、移動時間もガイド料金に含まれます。
- ・入館料など施設利用料金は、お客様のご負担となります。
- ・食事時間はガイド料金に含まれます。
- ・ガイド料は当日、ガイドに一括でご入金ください。領収書を発行させていただきます。なお、つり銭がないようご用意願います。
- ・緊急連絡先としてガイドの携帯番号をお知らせいたします。

【推奨コース】

■映画「のぼうの城」の舞台をたずねてコース（所要：3時間）

石田三成率いる豊臣軍2万に対し、防ぎ手 忍城軍500人。沼田や湿地で守られた“難攻不落の浮き城”、関東七名城にも数えられる忍城址や郷土博物館を見学したあとは、水攻めのために築かれた石田堤址をめぐり、三成らが陣を張った丸墓山古墳の墳頂から忍城を望みます。

■忍城（おしじょう）コース（所要：1時間～）

復元された遺構から往時の城の面影に触れ、御三階櫓のある「郷土博物館」では歴代城主の歴史や一大産業だった足袋づくりなどを顧みます。時間に余裕があれば、少し足を延ばして外壕址の水城公園で散策も。

■さきたま古墳公園コース（所要：1時間30分～）

埼玉県名発祥の地、広さ37万㎡に達する東日本最大の大規模古墳群「さきたま古墳公園」を散策しながら、日本国家の草創期・古墳時代へタイムスリップします。日本最大級の円墳・丸墓山古墳からの眺望。園内「さきたま史跡の博物館」や「將軍山展示館」には、百年に一度の大発見といわれる稲荷山古墳出土の金文字タイムカプセル「金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）」や同時に発掘された数々の国宝、復元された横穴式の石室も。土日であれば、「関東の石舞台」とも言われる八幡山古墳に足を延ばして、大きな石室に入ってま

しょう。

■古代蓮の里コース（所要：1時間）

10数万㎡の公園「古代蓮の里」の四つの大池には、千数百年の眠りから目覚めた古代蓮の「行田蓮」（見ごろは6月下旬～7月）をはじめ、世界のハスが42種類12万株。池の中を横切る木道を歩けば、ふくよかな香りが…。ほかにも蠟梅や梅、桜などの花木が2万数千本も。園内「古代蓮会館」の地上50メートルの展望塔からは、関東平野を囲む山々を一望。稲の刈入れ前なら足下にギネス記録となった世界最大の「田んぼアート」、冬の晴れた日には新宿副都心やスカイツリーが見えるかも。

■足袋蔵の町散策コース（所要：1時間～）

明治から昭和初期に建てられた足袋蔵や店蔵など、足袋産業の栄華を伝える歴史的建物を訪ねて、かつて最盛期の昭和13年には、全国足袋生産の約8割を占めた「日本一の足袋のまち」を散策。TVドラマ「陸王」のロケ地を見学したり、現代の足袋づくりを覗いてみることもできるかも。市内には他にも由緒ある多くの寺社、万葉歌碑、利根大堰や武蔵水路など・見どころがいっぱい。散策の途中で《ゼリーフライ》《フライ》《いが饅頭》《塩あんびん》など行田ならではのご当地グルメや、《お饅頭》《味噌漬け》《地酒》《足袋せんべい》などのお土産も。

■行田花手水めぐりコース（所要：1時間30分）

行田市では2020年10月より毎月1日から14日（※11月と1月は15日から末日まで）を行田花手水weekと題し、行田八幡神社と前玉神社をメインに八幡通り周辺の店舗・民家前など約60カ所に花手水を飾り、来訪者のおもてなしに取り組んでいる。行田八幡神社から新町商店街を抜け、ぶらっと♪ぎょうだを經由して忍城までご案内。行田八幡神社には6鉢、本市を代表する観光スポットである忍城址においては2箇所の花手水を飾り、お城と花手水という本市ならではの演出が楽しめる。

※希望のコースでご案内させていただくことも可能です。ご相談ください。